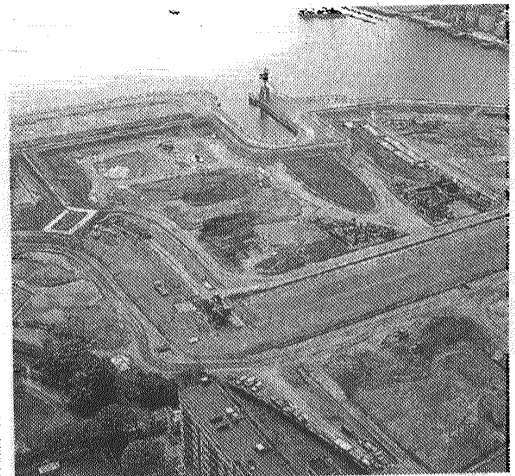
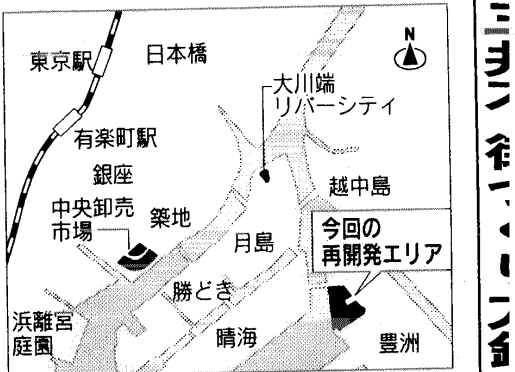


監視カメラ150台・介

マンションが建つ居住街区に百五十台以上の監視カメラを設置。高齢者や身体障害者を助けるサービス介助士も常駐する。地域交流を深めるため、新住民に街の清掃活動への参加も呼びかける。従来は居住人口がほとんどなかった地域だったため、暮らしやすさや安全性を強調した街づくりを進める。

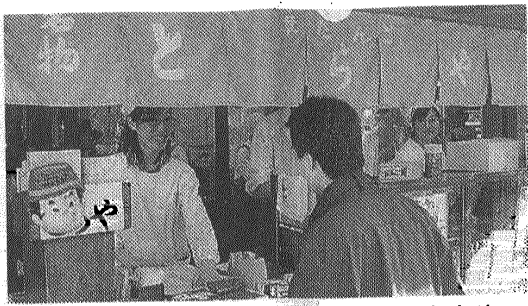


三井不動産が再開発を進めている石播造船所ドック跡地

柴又の店PR、慶大生協力

カメラ付き携帯の 写真は絵はがきに

亀有信金、活性化狙う



動きながら街おこしを支援した慶大生

慶大生がカメラ付き携帯電話で柴又の商店をPR。亀有信用金庫(東京・葛飾)は慶応義塾大学と協力して、柴又の商店街の活性化を支援した。慶応の学生が亀有信金の取引先の商店などで一日働きながら、カメラ付き携帯で店を撮影。撮った写真を組み合わせて、店の絵はがきを作成し、観光振興に役立てる。協力したのは慶応大学環境情報学部の加藤文俊助教の研究室。同研究室はコミュニケーション学の一環としてカメラ付

き携帯の使い方を研究している。亀有信金と加藤研究室は昨年十一月にも協力しており、今回が第二弾。

柴又が舞台の映画「男はつらいよ」の主役、渥美清さんが亡くなってから観光客の減少している柴又の活性化を狙って、亀

有信金が慶大に協力を要請した。前回は学生が柴又の街を撮影し、観光で不便な点や面白い点を指摘。写真をとって、店の絵はがきとコメントを付けた絵はがきを作り、亀有信金の支店や地元の商店などで配布した。今回は柴又の十一の商店に二十四人の学生を派遣。店で働きながらカメラ付き携帯で写真を撮り、「内側」から見た柴又を

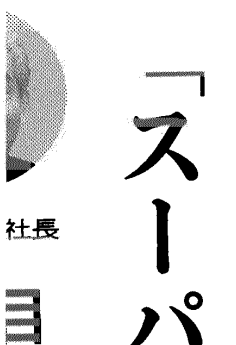
リポートした。撮影した写真を使い、学生がコメントを付け、店の絵はがきの作成もする。絵はがきにはQRコードを付け、携帯で読み込むと携帯の画面に店の地図が出るようにもする。加藤助教は「前回作成した絵はがきを手にとった人からの問い合わせも多かった。今回も街の活性化に役立てれば」と期待している。

JA茨城県中央会は二十五日、東京都と農産物の生産者情報の登録・公開制度で協定を結ぶ。茨城県で登録済みの事業者が、都の制度に登録する際に受ける審査や提出資料が簡素化され、農産物産物をアピールしやすくなる。多数の消費者を抱える東京都での販売促進につなげる狙い。JAや茨城県などは、生産者が農薬の使用基準を守っているか、などの情報を公開するインターネットサイト「いばらき農産物ネットカタログ」を二〇〇三年から運営。協定の適用第一号として、メロンやトマトを生産する茨城旭村農業協同組合が二十五日、都の制度に登録される予定。

川崎市は市ポットを外国介する初の観オ「カワサキ」の休日」をイラブストーリー、ドラマ構成で、をアピールす韓国語、中国語、海外のに送り、「かわさき」の発信を目指した川崎大師や術館など、新スポットが登場。スワーマンの設定を使い、も紹介する。

二月十日、米ヒューストンで東京都内の中小企業十一社が開催した商談会で、松村テクノロジのブースに数十人のひと

ノロジー (台東区)



「スーパーク」看破 住宅防犯など多角化も図る

ある専門店ビル「新百合丘オーパ」六階に新店を開業する。四店目となる同店は、初の京王線沿線以外への出店。売り場面積は千二百一十平方メートルで、営業時間は午前十時一午後九時とする。京王アトムマンは一九八六年以来、これまで京王線聖蹟桜ヶ丘、府中、京王八王子駅前前三店を展開してきた。

が相次いで見つかったほか、最も偽造が難しいとされるユーロ紙幣も欧州で二セ札が出回り始めた。鑑別機への引き合いは急増中で、山形県米沢

くふ楽、店くし焼き居酒屋のくふ楽(千草一社長)は首都圏網拡大に力

首都圏

川崎大師や術館など、新スポットが登場。スワーマンの設定を使い、も紹介する。